安全作業手順書【ウレタンゴム取替】

作成日・改正日	2025/4/1 （前回改正：2024/4/1）	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具・車両	インパクトレンチ、清掃道具一式 **回転刃は使用禁止**	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ 保護メガネ、切創作業用手袋、軍手

見積もり基準をした危険性の評価

可能性(A) ＼ 重大性(B)	○　軽微 （不休と休業３日以内）	△　重大 （休業４日以上）	×　極めて重大 （死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない （５年に１回程度）	○○ （極めて小さい）	○△ （かなり小さい）	○× （中程度）
△ たまに起こる （１年に１回程度）	△○ （かなり小さい）	△△ （中程度）	△× （かなり大きい）
× かなり起こる （６ヶ月に１回程度）	×○ （中程度）	×△ （かなり大きい）	×× （極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし（様子を見る）
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント （～なので～になる）	ﾘｽｸの見積り (A)	(B)	ﾘｽｸ	安全対策（危険度２以下へ） （私達はどうする）	ﾘｽｸの再見積り (A)	(B)	ﾘｽｸ
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	**4**	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	**1**
		作業員の役割（運転手、助手）を決める	免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	**3**	乗車時に必ず免許区分明示車両ｽﾃｯｶｰを確認する	○	△	**2**
		作業場所及び車線を確認する	上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように	/	/	/	/	/	/	/	/
		交通規制状況を確認する（路肩移動規制）	必ず当日の規制簿を確認して	/	/	/	/	/	/	/	/
		料金所内の立ち入り禁止部分の確認	踏板・ETCレーン等立入禁止部の確認	/	/	/	/	/	/	/	/
		しらすんだーの動作確認を行う	規制班と一緒に	/	/	/	/	/	/	/	/
	車両確認	セーフティーバイブル		25.車両回送手順書に則る							
	作業車両準備										
	作業車両点検										
	出発準備										
本作業	出発										
	車両移動停止										
	逸走防止										
	準備作業	車両から降りる	周囲の状況に注意して	/	/	/	/	/	/	/	/
	プラウをおろす	プラウをおろす	周囲の状況に注意して	声かけをせずに作業を行い、手足を挟む	△	△	**3**	プラウをおろす前に声かけをして、車両から人が離れたことを確認する	○	○	**1**
	ボルト取り外し	工具を使用してナットを緩める		適合してない道具で締め付け時、空振りして手にけがをする	△	△	**3**	決まった道具を選定して、あわてた作業はしない	○	△	**2**
		古いウレタンゴムを取り外す		バール等を使用してウレタンゴムを取り外す際に周囲の人と接触する	△	△	**3**	取り外し作業をする際は周囲には近づかない	○	○	**1**
	ウレタン取替	新しいウレタンゴムを設置する		ウレタンゴムを設置する際にプレートに手を挟みケガをする	○	×	**3**	ウレタンゴムを設置する際は声をかけあう	○	△	**2**
	ボルト固定	工具を使用して締めつける	取付端部のナットは十分に締め付け最後に増し締めする	適合してない道具で締め付け時、空振りして手にけがをする	△	△	**3**	決まった道具を選定して、あわてた作業はしない	○	○	**1**
	仕上げ	離脱前に場内の清掃を行う	隅々までよく確認して	/	/	/	/	/	/	/	/
	現場離脱及び	25.車両回送手順書に則る									
	帰着	25.車両回送手順書に則る									
	駐車										
	後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/
特記事項	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	**3**	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	**1**